

【白文・訓読文】

子曰「泰伯、其可謂至徳也。已矣、三以天下讓、民無得而稱焉。」

【書き下し文】

子の曰わく、泰伯は其れ至徳と謂うべきのみ。三たび天下を以て讓る。民得て稱むる無し。

【現代訳文】

先生がおっしゃった。

周の泰伯は徳の極みだね。何度も天下を讓ったことになるが、その譲り方があまりに見事だったため、周囲は気づかず、称えることもなかった。